

おはなし会

事業名	日時	参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕 (吾亦紅)	7 / 2 (火) 10 : 30 ~ 11 : 30	23人
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 (職員+図書館ボランティア協力)	7 / 4 (木) 11 : 00 ~ 11 : 30	90人 対象児27人
おはなし会 〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	7 / 13 (土) 10 : 30 ~ 11 : 30	20人
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	7 / 18 (木) 11 : 00 ~ 11 : 30	人(人)
小学生向けおはなし会 (学校連携嘱託+学校連携ボラン ティア協力)	7 / 19 (金) 14 : 00 ~ 14 : 30	人
おはなし会 〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	7 / 20 (土) 14 : 00 ~ 14 : 30	人
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート〕 (職員+図書館ボランティア協力)	7 / 20 (土) 15 : 00 ~ 15 : 30	人 対象児 人
えいごのおはなし会 (レディバグ)	7 / 27 (土) 10 : 30 ~ 11 : 30	人
小学生向けブックトーク (学校連携嘱託+学校連携ボラン ティア協力)	7 / 31 (水) 15 : 00 ~ 16 : 00	人

閲覧室内企画展示

テーマ	内容	コメント
蒐集物(しゅうしゅうぶつ) ・コレクション	個人や各種機関・団体が集めた様々なコレクションを紹介した本を100冊選書。収集・分類・発表という一連の愉しみをまとめた書物を示す企画。	5/29~7/15で貸出冊数289冊。棚の前に立ち、2冊、3冊と本を手にする利用者が多い。利用者から「良い」という声も届いている。
オビオビ大作戦	夏休みの課題である読書感想文に向けた展示。手に取りやすくしてもらう工夫として、一冊ずつに紹介文(帯)を付ける。200冊を選書。	7/2~7/15で貸出冊数82冊。例年通りの利用があり、夏休みから熱心に選んで借りていく子どもを見かける。
セ・ン・ソ・ウ ~生きる権利を考える	新しい時代になった今、あらためて「生きる権利」を考えられるように、戦争をテーマにした児童書80冊を展示・貸出する。	7/2~7/15で貸出冊数33冊。アンネ・フランク関連本などナチスによる迫害、広島原爆に関する資料が貸出の大半を占め、そのほとんどが面出ししたものである。アメリカと戦争をしていたことを知らない小学生がいる中、「あと1冊、戦争の本を」と引き続き呼び掛けていきたい。
親子でよみたい絵本 「国際アンデルセン賞(画家賞)受賞の絵本」&「JBBY選おすすめ!世界の子どもの本」	アンデルセンの誕生日にちなんで、国際アンデルセン賞(画家賞)を受賞した絵本35冊と、国際児童図書評議会(JBBY)が推薦する世界の子どもの絵本25冊、併せて合計60冊を選書。	4/24~7/15で貸出冊数232冊。貸出回数の多い絵本の約4割が閉架の本だった。出版年が古い良い絵本をPRする機会となった。

8月の予定
おはなし会

事業名	日時
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 (職員+図書館ボランティア協力)	8 / 1 (木) 11:00~11:30
大人のおはなし会〔読書会〕 (吾亦紅)	8 / 6 (火) 10:30~11:30
おはなし会 〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	8 / 10 (土) 10:30~11:30
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	8 / 15 (木) 11:00~11:30
おはなし会 〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	8 / 17 (土) 14:00~14:30
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート〕 (職員+図書館ボランティア協力)	8 / 17 (土) 15:00~15:30
えいごのおはなし会 (レディバグ) ※20周年記念イベントを実施予定	8 / 24 (土) 10:30~11:30

閲覧室内 企画展示（8月から展示する新規分）

テーマ	内容
休暇の本 ー休暇の過ごし方、休日の過ごし方	夏休みやお盆休みなどの長期休暇にかけて、休暇・休日の過ごし方というテーマで100冊選書。
喫茶・チュウアウトショカン ～夏に食べたいスイーツ本集めました～	食欲が薄れがちな夏、あえて食べ物をテーマにし、読後「食べに行こう!」という気持ちになるようなスイーツの本を40冊選書。

その他

夏休み図書館探検隊	8 / 2 (金) ①10:00~11:00 ②15:00~16:00	第2次子ども読書活動推進計画の学校連携司書による企画として、市内の小学生を対象に、図書館バックヤード等を探検し、自分が借りたい本の貸出し処理を体験する。
-----------	---	--

令和元年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 児童館図書室の環境整備	児童館職員だけでは徹底した書架構築ができない	青少年児童センターでの年間貸出数1300冊	1.司書が選書した本を団体貸出し、対象年齢別など、読者層に応じた棚配置等を行う。 2.図書館が作成した本のPOPを児童館へ提供する。(年1回程度) 3.図書室利用状況は、貸出数で把握するため、青少年児童センターを含めた全児童館で集計・分析した結果を基に選んだ図書を貸出す。	・市が洞児童館の団体貸出入替200冊(7/2) ・南児童館入換え分の選書作業及び日程調整 ・南児童館の団体貸出入替200冊(7/17)	青少年児童センターの貸出数 71冊(5冊)	66冊(5冊)	110冊(9冊) ← 全数	集計と検証(毎月)									第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)
					市が洞児童館 団体貸出入替	南児童館 団体貸出入替7/17	上郷児童館 団体貸出入替	下山児童館 団体貸出入替	西児童館 団体貸出入替								
2 本の展示の実施	蔵書の魅力を伝える機会が少ない	本の展示企画を年間19回開催	1.司書によるオリジナルな展示の企画。 2.閉架の図書も展示図書に組み込む。 3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2ヶ月単位で展示。 4.展示本の位置情報を変更入力処理し、利用者が手に取りやすくする。 5.貸出統計値を集計・分析し、収集や次期企画に応用する。	棚27番(南玄関)「休暇の本」 棚24番(カウンター前)「喫茶フェウオウドソカン〜夏に食べたスイーツ本集めました〜」 棚19番(児童書架)「セ・ソ・ウ〜生きる権利を考える」 北玄関棚「オビオビ大作戦」	棚27番	棚27番	棚27番(南玄関)	棚24番(カウンター前)	棚24番	棚19番	棚19番(児童)	棚19番	棚19番	棚19番	棚19番	棚19番	教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進
					北玄関棚	北玄関棚	北玄関棚	北玄関棚	北玄関棚	北玄関棚							
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。(前年度175冊、目標150冊)	1.不明化傾向に基づく本の配置換え(随時)。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.職員の巡回による抑止力強化(1日2回程度) 4.持ち出し発生書架に警告表示 5.防犯カメラ等の表示貼替え(年3〜4回)	不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 持ち出し発生書架にブックエンド型警告表示を設置。 ※詳細値は7月23日の館内整理日に集計予定。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示)	職員等による閲覧室巡回	防犯カメラ等の表示貼替え	集計と検証(毎月)	黄ばみ等の点検、位置変更など								
					2冊	6冊	1冊										
4 延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計(1日〜30日)時点での延滞冊数を900冊以内とする。	1.1日以上の延滞者へ窓口で注意喚起。 2.7日以上の延滞者へ利用カードの貸出禁止措置及び注意喚起カードを窓口で手渡し。 3.15日以上の延滞者に督促はがきを毎週郵送。 4.30日以上長期延滞者に黄色のはがきを毎週郵送。 5.30日以上延滞者へ2週間に一度督促電話。 6.60日以上延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員からの嚴重注意。	延滞者へはがきを郵送。 延滞者への注意喚起カードを窓口カウンターにて手渡し。 延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年) ※詳細値は7月23日の館内整理日に集計予定。 延滞者へ注意喚起カードを窓口で配布(通年)	集計と検証(毎月)												
					1157冊	1235冊	1005冊	冊									

